



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL http://www.artspark.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 匡人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 星 和彦 (TEL) 03-3710-2985
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	1,858	-	17	-	28	-	17	-
24年12月期第2四半期	734	-	△261	-	△270	-	△376	-

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 3百万円(-%) 24年12月期第2四半期 △362百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	2.62	-
24年12月期第2四半期	△56.70	-

※当社は、平成24年4月2日付で株式会社セルシスと株式会社エイチアイの経営統合に伴い、両社を完全子会社とする共同持株会社として設立され、平成24年12月期第2四半期は3か月の変則決算となっているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	3,892	2,348	59.8
24年12月期	4,024	2,349	57.7

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 2,325百万円 24年12月期 2,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
25年12月期	-	0.00			
25年12月期(予想)			-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	-	100	-	95	-	90	-	13.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期2Q	6,635,570株	24年12月期	6,635,570株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	590株	24年12月期	275株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期2Q	6,635,140株	24年12月期2Q	6,635,518株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成24年4月2日付で株式会社セルシスと株式会社エイチアイの経営統合に伴い、両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されたため、平成24年12月期第2四半期実績は、平成24年4月2日から平成24年6月30日までの3か月実績値となっております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、平成24年4月2日設立のため、前第2四半期連結累計期間に係る決算数値の前年同期との対比は行っておりません。

当第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年6月30日）における当社グループを取り巻く事業環境を見渡しますと、パーソナルコンピューター以外でのポータブルなインターネット接続機器の多様化や、デジタルカメラをはじめとする家電機器、車載機器、電子看板、店舗での操作用端末など、実用機器でのグラフィクス表示機能の技術が著しく進歩しており、一般への普及も急速に進んでおります。今後、デジタルグラフィクスの制作から利用に関する技術とサービスや、利便性の高いデジタル機器のユーザーインターフェースの提供は、より一層社会的に重要な基幹活動の一つになっていくものと予想されます。

このような状況の下、当社グループは「デジタル“ものづくり”」の応援と支援を経営理念に掲げ、デジタルによるコンテンツの制作と利用が一般に普及する社会において、引き続き重要なポジションを担い続けられるよう、当社グループの強みであるグラフィクス関連技術とサービス開発の相乗効果を最大限に活かした事業活動を推進しております。

携帯端末市場の中心がスマートフォンへと急速に移行していく中で、当社グループは事業モデルが転換期にさしかかっており、かかる変化を新たな成長機会として捉え、中長期的に企業価値を継続的に向上させる目的で、事業構造改革を進めており、平成25年12月期については、通期での黒字化を実現すべく、コスト削減と利益率の向上を目指す一方で、戦略投資事業における投資の成果であるソリューションの強化を進めております。

当第2四半期連結累計期間においては、各事業セグメントにおいて、継続的に販売活動の強化を推進するとともに、希望退職の実施に伴う人員削減効果や減価償却負担の軽減等の構造改革の成果が売上原価及び販売管理費の圧縮に貢献し始めております。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は1,858,689千円、営業利益は17,305千円となりました。経常損益については、当社の持分法適用会社であるガラット株式会社に対する投資持分について、持分法による投資損失13,277千円を計上しております。また、前期末に引当済の事業構造改革引当金において実際に使用されなかった金額を事業構造改革引当金戻入益として14,934千円計上したこと、関係会社清算損失引当金戻入益6,395千円を計上したこと等により、28,152千円の経常利益となりました。また、四半期純利益は、投資有価証券評価損11,004千円の計上等により17,401千円となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントとして記載する事業セグメント区分の変更又は名称の変更を行っております。

<コンテンツソリューション事業>

コンテンツソリューション事業は、セグメント区分の変更及び名称の変更を行っております。

当社グループのグラフィクス技術による、総合的なコンテンツ関連ソリューション提供を強化するため、従来の電子書籍サポート事業に加え、クリエイターサポート事業における法人向けグラフィクス関連活動を再編し、ロイヤリティ収入と業務受託収入が移行しております。

セグメント区分の変更に伴い、セグメント名称を「電子書籍サポート事業」から「コンテンツソリューション事業」へ変更しております。

電子書籍ソリューションの中心である携帯電話市場におきましては、平成25年6月末で国内携帯電話加入契約数が1億3,329万台（前年比6.0%増）となっております。（社団法人電気通信事業者協会発表「携帯電話・PHS契約数」より）

また、2012年度通期の携帯電話出荷台数が4,181万台（前年比2.2%減）となる中、スマートフォンの出荷台数は前年度比23.0%増の2,972万台となり、総出荷台数に占めるスマートフォン出荷台数比率は71.1%となっております。（株式会社MM総研発表より）

このような経営環境の中、電子書籍ビューア『BS Reader for Browser』のバージョンアップにより新たにEPUB形式の縦書きテキスト表示に対応し、コミックのみならず、小説、実用書など幅広いジャンルのコンテンツ配信が可能となり、従来の配信環境に特別な変更をすることなく利用できるようになりました。

また、Android端末向け総合電子書籍ビューア「BS Reader」のダウンロード数は、当第2四半期連結累計期間において250万ダウンロードとなっております。

以上の結果、コンテンツソリューション事業につきましては、総合電子書籍ビューア「BS Reader」を軸として推進する電子書籍ソリューションの売上高が579,524千円、法人向けのグラフィクスソリューションの売上高が60,078千円となり、当事業合計の売上高は639,602千円、営業利益は48,456千円となりました。

<クリエイターサポート事業>

クリエイターサポート事業は、セグメント区分の変更をしております。

法人向けのロイヤリティ収入と業務受託収入をコンテンツソリューション事業へ移行しております。

クリエイターをトータルに支援するクリエイターサポート事業には、グラフィクスコンテンツ制作における新製品「CLIP STUDIO」シリーズや、従来のイラスト制作ソフトウェア「ILLUST STUDIO」、マンガ制作ソフトウェア「ComicStudio」シリーズ、アニメ制作支援ソフトウェア「RETAS STUDIO」等の販売と、インターネットを通じて、イラスト、マンガ、アニメ、小説を制作するクリエイターの創作活動をトータルに支援するサイト「CLIP」のユーザーからの課金収入が属しております。

当第2四半期連結累計期間には、企業・学校向けに、イラスト・マンガ・アニメーション制作ソフトウェアのボリュームライセンスの販売を開始いたしました。システム管理者の負荷を軽減し、大規模導入が可能となりました。

また、クリエイターの創作活動をトータルに支援するサイト「CLIP」においては、平成25年6月末時点の登録者数は30万人となっております。

以上の結果、売上高は290,143千円となりましたが、先行投資が継続しており営業損失は61,576千円となりました。

クリエイターサポート事業では、グラフィクスコンテンツの制作支援ツール、デバイス、サービスの提供を通じて、グラフィクスコンテンツサービスの制作・流通を支援する基幹プラットフォームとしての収益力強化に引き続き注力してまいります。

<UI/UX事業>

従来のミドルウェア事業につきましては、UI/UX（ユーアイ/ユーエックス）事業に名称を変更しております。

UI/UX事業とは、ユーザーと機器並びにソフトウェアとの間で接点となり、相互がやり取りをするための一連の要素であるUI（ユーザーインターフェース）と、機器やソフトウェアを通じて得られる楽しさや気持ちよさ等の体験であるUX（ユーザーエクスペリエンス）とを一体として考え、デザインとソリ

ユーシオン提供から実装開発までをトータルで行う事業です。

当第2四半期連結累計期間においては、ライセンス収入に加え、車載機等を中心に受託開発売上が増加いたしました。新製品としましては、スマートフォンで動くアプリケーションの試作品がプログラムなしで作れるプロトタイプ作成ツール「プロトタイピング (exbeans® Prototyping)」を発売開始いたしました。また、UI/UX開発において、「デザイン&テクノロジー」をキーワードとして、デザインとソフトウェア開発の両輪をソリューションとして提供するにあたり、「Designによる開発支援」を展開する(株)U'eyes Design社と戦略的業務提携を樹立し、一層のソリューション強化を図っております。その結果、売上高は812,740千円、営業利益は1,032千円となりました。

<アプリケーション事業>

通信キャリアやサービス事業者等に対して、サービス運営や受託開発を行うアプリケーション事業では、事業構造改革の一環として事業規模の縮小を進めており、従来からの継続案件についてのみ事業を継続しております。その結果、売上高は119,455千円、営業損失は2,058千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、3,892,447千円となりました。うち、流動資産は2,047,717千円であり、主な内容は現金及び預金1,258,528千円であります。また、固定資産は1,835,598千円であり、主な内容はソフトウェア838,573千円、投資有価証券564,681千円であります。

当第2四半期連結会計期間末における総負債は、1,543,837千円となりました。うち、流動負債は1,020,494千円であり、固定負債は523,342千円であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、2,348,610千円となりました。なお、自己資本比率は、59.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の連結業績予想につきましては、平成25年2月1日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,294,740	1,258,528
売掛金	561,478	422,014
製品	48,491	35,384
仕掛品	24,655	120,318
原材料及び貯蔵品	119,232	122,612
その他	120,371	97,126
貸倒引当金	△10,389	△8,266
流動資産合計	2,158,580	2,047,717
固定資産		
有形固定資産		
建物	112,413	113,436
減価償却累計額	△70,618	△74,138
建物(純額)	41,794	39,298
工具、器具及び備品	266,008	268,690
減価償却累計額	△237,737	△244,247
工具、器具及び備品(純額)	28,270	24,443
有形固定資産合計	70,065	63,741
無形固定資産		
ソフトウェア	885,915	838,573
ソフトウェア仮勘定	25,766	81,488
のれん	34,955	31,459
その他	32,606	32,562
無形固定資産合計	979,243	984,084
投資その他の資産		
投資有価証券	599,132	564,681
敷金及び保証金	188,094	193,270
その他	19,474	29,820
投資その他の資産合計	806,700	787,772
固定資産合計	1,856,010	1,835,598
繰延資産	10,349	9,131
資産合計	4,024,940	3,892,447

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,305	182,829
短期借入金	190,000	290,000
1年内返済予定の長期借入金	248,576	233,994
未払法人税等	4,271	7,603
返品調整引当金	3,775	3,055
関係会社清算損失引当金	10,844	4,448
事業構造改革引当金	81,133	—
その他	313,512	298,563
流動負債合計	1,022,418	1,020,494
固定負債		
長期借入金	474,391	364,687
退職給付引当金	76,593	65,216
繰延税金負債	102,481	93,439
固定負債合計	653,465	523,342
負債合計	1,675,884	1,543,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	1,867,600	479,126
利益剰余金	△658,100	747,775
自己株式	△71	△169
株主資本合計	2,209,429	2,226,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,127	99,101
その他の包括利益累計額合計	113,127	99,101
新株予約権	26,499	22,776
純資産合計	2,349,056	2,348,610
負債純資産合計	4,024,940	3,892,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月2日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	734,307	1,858,689
売上原価	640,568	1,215,472
売上総利益	93,738	643,217
返品調整引当金戻入額	7,086	3,775
返品調整引当金繰入額	7,259	3,055
差引売上総利益	93,566	643,937
販売費及び一般管理費	355,202	626,632
営業利益又は営業損失(△)	△261,636	17,305
営業外収益		
受取利息	351	241
受取配当金	5,000	6,900
為替差益	—	2,549
関係会社清算損失引当金戻入益	—	6,395
事業構造改革引当金戻入益	—	14,934
その他	604	2,160
営業外収益合計	5,955	33,182
営業外費用		
支払利息	3,111	4,639
持分法による投資損失	7,981	13,277
その他	4,072	4,418
営業外費用合計	15,165	22,334
経常利益又は経常損失(△)	△270,846	28,152
特別利益		
負ののれん発生益	408,113	—
新株予約権戻入益	101	4,431
持分変動利益	—	7,438
その他	1,000	—
特別利益合計	409,215	11,870
特別損失		
支払和解金	—	7,600
投資有価証券評価損	43,026	11,004
減損損失	394,407	—
特別損失合計	437,434	18,604
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△299,065	21,418
法人税等	77,203	4,017
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△376,269	17,401
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△376,269	17,401

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月2日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△376,269	17,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,459	△14,025
その他の包括利益合計	13,459	△14,025
四半期包括利益	△362,809	3,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△362,809	3,375
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月2日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△299,065	21,418
減価償却費	153,115	254,850
株式報酬費用	1,496	708
新株予約権戻入益	△101	△4,431
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,990	△2,122
返品調整引当金の増減額(△は減少)	172	△719
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,746	△11,377
受注損失引当金の増減額(△は減少)	24,049	—
関係会社清算損失引当金の増減額(△は減少)	—	△6,395
事業構造改革引当金の増減額(△は減少)	—	△81,133
受取利息及び受取配当金	△5,351	△7,141
支払利息	3,111	4,639
為替差損益(△は益)	361	△1,678
持分法による投資損益(△は益)	7,981	13,277
持分変動損益(△は益)	—	△7,438
負ののれん発生益	△408,113	—
減損損失	394,407	—
投資有価証券評価損益(△は益)	43,026	11,004
売上債権の増減額(△は増加)	408,265	139,464
たな卸資産の増減額(△は増加)	△169,754	△85,935
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,446	12,524
その他	89,804	22,061
小計	226,713	271,573
利息及び配当金の受取額	5,351	241
利息の支払額	△3,177	△4,624
法人税等の支払額	△5,347	△4,546
営業活動によるキャッシュ・フロー	223,539	262,643
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△900	△1,861
定期預金の払戻による収入	—	57,137
有形固定資産の取得による支出	△6,556	△8,492
無形固定資産の取得による支出	△248,357	△253,967
関係会社貸付けによる支出	—	△20,000
関係会社貸付金の回収による収入	—	20,000
投資有価証券の取得による支出	△3,960	△9,950
投資有価証券の売却による収入	—	2,070
差入保証金の差入による支出	—	△6,210
敷金の回収による収入	—	400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△259,774	△220,873

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月2日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100,000
短期借入金の返済による支出	△40,000	—
長期借入金の返済による支出	△70,476	△124,286
自己株式の取得による支出	△24	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,500	△24,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△361	1,678
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△147,096	19,064
現金及び現金同等物の期首残高	698,909	939,597
株式移転による現金及び現金同等物の増加額	1,080,144	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,631,958	958,661

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月2日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート 事業	UI/UX事業	アプリケー ション事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	350,351	120,729	194,090	69,136	734,307	—	734,307
セグメント間の内部売上 高 又は振替高	—	1,708	5,606	5,285	12,600	△12,600	—
計	350,351	122,437	199,696	74,422	746,907	△12,600	734,307
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	5,637	△133,377	△89,054	△84,775	△301,569	39,932	△261,636

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「クリエイターサポート事業」セグメントにおいて、当初の予想よりも収益性が低下している資産グループについて、その帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、394,407千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

当社は、平成24年4月2日に、株式会社セルシスと株式会社エイチアイの共同株式移転の方法による持株会社として設立されましたが、株式会社セルシスを取得企業とする過程において、負ののれん408,113千円が発生しました。当該負ののれんは、特定の報告セグメントに係るものではないため、報告セグメントごとの重要な負ののれん発生益はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート 事業	UI/UX事業	アプリケー ション事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	636,771	290,143	812,399	118,474	1,857,789	900	1,858,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,830	—	340	980	4,152	△4,152	—
計	639,602	290,143	812,740	119,455	1,861,942	△3,252	1,858,689
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	48,456	△61,576	1,032	△2,058	△14,146	31,452	17,305

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない
全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行って
おります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の「ミドルウェア事業」から「UI/UX事業」へ名称を変更して
おります。なお、当該変更はセグメントの名称変更のみであります。

また、従来「クリエイターサポート事業」に含まれていたソフトウェアに係るロイヤリティ収入を
「電子書籍サポート事業」と統合し、「コンテンツソリューション事業」といたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成して
おり、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する
情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成25年3月開催の定時株主総会決議により、利益剰余金の欠損填補を行い、資本剰余金のうち
1,388,473千円を減少し、資本剰余金は479,126千円となっております。